

# 一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月3日から開催される第1回七飯町議会定例会において、次のとおり一般質問をする旨、各議員から通告がありましたので、通知いたします。

令和 7 年 3 月 3 日

七飯町長 杉 原 太 殿

七飯町議会議長 木 下 敏

## 目 次

質 問 者	質 問 事 項	ページ
1. 平 松 俊 一	各種ワクチン接種について	1
	地震などの災害による上下水道対策について	2
	第6次行財政改革大綱について	3
2. 上 野 武 彦	上下水道事業の今後の運営について	4
3. 川 村 主 税	町内における医療機関での健康保険証及びマイナ保険証の使用状況とマイナンバーカードの交付率アップの取組みについて	6
	確定申告での事務処理の現状と e-Tax 推進の取組みについて	7
4. 江 口 勝 幸	七飯町内の防災と情報の周知について	8

通告順位 及び質問者	要 旨	
1. 平松俊一	1	<p>各種ワクチン接種について</p> <p>町では令和6年の10月1日から令和7年3月31日まで新型コロナウイルスのワクチン接種を該当者一人当たり12,300円の補助を行うために3千万円ほどの予算を組んで執行して来た。</p> <p>また令和7年度からは母子疾病対策として「RSウイルス」感染対策にワクチン接種費用の半額を助成としている。</p> <p>新型コロナワクチン接種による死亡や副作用の問題、いわゆる「薬害」とも言える事象が解決していない時期に、昨年1月に販売認証を得たばかりの新しいRSワクチンの接種を予算化している。</p> <p>今現在、町が把握してきたワクチン接種による副作用や障害に結びつくと確認できている案件を精査公表し、新たなワクチン接種に向けた合意形成が必要だと考える。</p> <p>そこで以下の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次世代型 mRNA ワクチンの接種状況について</li> <li>2. 次世代型 mRNA ワクチン関連の予算執行状況について</li> <li>3. 町内における新型コロナワクチン接種による2類～5類を通して死亡・副作用反応と認定された状況について</li> <li>4. 町内における新型コロナワクチン接種後の相談件数について</li> <li>5. RSウイルスワクチン接種を予算化したことについて</li> <li>6. RSウイルスワクチン接種の必要性和安全性について</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>2 地震などの災害による上下水道対策について</p> <p>最近、公共施設の老朽化による事故や損害が報道されているが、これらのことに関する町の計画に関して伺いたい。</p> <p>ライフラインの損害は即、住民生活に支障をきたす事は明白である。特に上下水道のトラブルは地中にあるため、損傷状況の確認や復旧工事規模が把握しづらく、復旧に時間を要することが多い。</p> <p>現在、町では上水道本管の耐震化を進めているが、完了までには相当な時間と費用を要する状態であると共に、大沼特環下水道の見直しを進めるところでもある。</p> <p>ライフラインの更新は国内的にも重要事項との認識が高まっている中、すぐにでもでき得ることを検討する必要もある。</p> <p>1年前の定例会でも質問したが各避難所に井戸を設置し、井戸水を冷暖房に使用しながら断水対策とすること等も含め以下のことについて伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在、上水道本管の耐震化が完了した延長は全体の2割程度であり、完了するまでの損傷対策について</li> <li>2. 全国各地での過去の大きな災害発生時でも井戸の使用が可能なところが多かった事について</li> <li>3. 地下水を利用した冷暖房装置はランニングコストが安い上にエネルギー消費も少なく、公共施設への利用促進について</li> <li>4. 防災対策工事として各避難施設に井戸を設置する事について</li> <li>5. 町内の公共下水道は全て、結果的には函館市にある函館湾流域下水処理センターへ流入しているが、この施設が地震や津波被害を受けた場合に当町ほどの様な対策を取ることになっているのかについて</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>3 第6次行財政改革大綱について</p> <p>町は令和3年度から令和7年度までに取り組む行政改革を、町民の視点に立った質の高い行政サービスを提供するため「将来に渡り持続可能な行財政基盤の構築」を基本方針に掲げた第6次行政改革大綱」を作成した。</p> <p>この取り組みについて、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織の活性化について</li> <li>2. 総合計画の着実な推進を図るための「自立する自治体経営」について</li> <li>3. 効率的な行政運営について</li> <li>4. 職員の意欲向上について</li> <li>5. 自主財源の確保について</li> <li>6. 指定管理者制度の見直しについて</li> <li>7. 公共施設のあり方の検討と対策実施について</li> <li>8. ICT等の活用について</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
2. 上野武彦	1	<p>上下水道事業の今後の運営について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上下水道事業が国土交通省の所管になったのを機に国土交通省は、上下水道施設の維持、管理や修繕、更新を一体的に民間にゆだねる官民連携を推進する方針を打ち出し、その事業を行う事業者の選定のため検討や調査を行う自治体に予算措置をしており、七飯町はこの事業に応募し、事業者の募集を始めていたが、この間にこの取り組みをとりやめているがその経緯について。</li> <li>2. 七飯町の水道管は老朽化が進み、30%近い漏水が発生しているということであるが、令和5年の時点で老朽管更新の概算費用で約207億円、水道施設の耐震化と耐震年数の更新に概算費用総額で115億円の事業が必要であるということだが、耐用年数が40年といわれる水道管の更新計画はどのようになっているのか。</li> <li>3. 水道施設については、耐用年数が50年ということだが、現在の施設の老朽化の状況はどのようになっているのか。またそれに対する更新の計画について。</li> <li>4. 大沼の特定環境保全公共下水道と森町特定環境保全公共下水道からの汚水を七飯町が管理する下水管渠に接続する事業（特環広域化）は社会資本整備総合交付金を財源の一部として実施する方向で進められているが、上藤城、藤城、峠下、仁山地区については今後どのような見通しとなっているのか。また、その他の下水道事業に関して老朽化などによる整備の課題はないか。</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>5. 下水道事業は、営業損失が多額であり、一般会計から令和5年度は約1億円の繰り入れが行われて運営されてきているが、このような状況で事業の実施が可能と考えているのか。今後どのような対応が必要と考えているのか。</p>

通告順位 及び質問者	要 旨	
<p>3. 川村主税</p>	1	<p>町内における医療機関での健康保険証及びマイナ保険証の使用状況とマイナンバーカードの交付率アップの取組みについて</p> <p>昨年、12月2日より現行の健康保険証が新規発行されなくなり、現在、使用している保険証はその有効期限まで使用できることになっている。</p> <p>マイナンバーカードを持っていない場合は、資格確認書の発行により医療機関での受診が可能となっているが、町内におけるそれぞれの使用状況、メリット、デメリット、またマイナンバーカードの交付率アップの今後の取組みについてお聞きしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内における医療機関での健康保険証及びマイナ保険証の使用状況について（具体的な件数も分かれば）</li> <li>2. 現行の国民健康保険証の有効期限について</li> <li>3. 資格確認書の現在の発行数について</li> <li>4. マイナ保険証のメリット、デメリットについて</li> <li>5. 過去5年間のマイナンバーカードの発行数及び人口に対しての割合について</li> <li>6. マイナンバーカードの交付率アップの取組みについて（一昨年と比べて国と当町での対応について）</li> </ol>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p data-bbox="507 369 1337 454">2 確定申告での事務処理の現状と e-Tax 推進の取組みについて</p> <p data-bbox="560 517 1390 804">国税電子申告・納税システム（e-Tax）とは、平成16年2月から申告や納税の事務処理に関して、国民の利便性の向上と行政手続きの簡素化、効率化を目指す一環として全国的に導入されたシステムである。税務署、自治体の窓口に行かなくとも、ご自宅など空いてる時間帯に作業が出来るなどがメリットとしてあげられる。</p> <p data-bbox="560 819 1390 904">当町の実務処理の現状と e-Tax 推進の取組みについて伺いたい。</p> <ol data-bbox="582 972 1390 1458" style="list-style-type: none"> <li>1. 当町の実務処理の現状と e-Tax 推進の取組みについて（一昨年と比べて国と当町での対応について）</li> <li>2. 当町に確定申告に来られた、過去5年間分の町民の人数及び1日あたりの平均人数について</li> <li>3. 確定申告提出件数とその内電子申告の件数について（過去5年間分）</li> <li>4. 事務処理に対応する職員、会計年度任用職員の人数について</li> <li>5. 事務処理に対応する職員、会計年度任用職員の人件費及び交付税措置について</li> </ol>

通告順位 及び質問者	要 旨	
4. 江口勝幸	1	<p>七飯町内の防災と情報の周知について</p> <p>ここ数年、国内において地震による大規模災害また台風や線状降水帯による水害など度々ニュースや情報誌から防災対策の重要性が注視されている。地震と豪雨の二重被災に見舞われた石川県・能登半島の自然災害が記憶に新しい。</p> <p>七飯町近隣市町が特に注視すべき点では、昨年3月に23年ぶりに火山性微動が観測された活火山の駒ヶ岳である。このことから災害への事前準備等の啓蒙活動が必要と考えられる。</p> <p>そこで、以下の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 避難行動要支援者避難支援制度に該当する対象者の数と、昨年各地域より提出された数について。 また、個人情報の取り扱いが難しい中ではあるが、この制度による個別避難計画の策定を町ではどの程度把握しているか。</li> <li>2. 町内に50基設置している屋外スピーカーや町民に配布されている戸別受信機、また、庁舎や出張所などに設置しているデジタルサイネージについて町民からどのような意見が届いているか。 また、戸別受信機について当初の配布数と現在の返却数について。</li> </ol>